

上島町幼年消防クラブ退団式
火遊びはしません！

2月上旬、上島町内の各保育所において、幼年消防クラブ退団式を行いました。退団式では、消防長・各方面隊長のあいさつに始まり、防火に関するDVD鑑賞、園児による防火豆まき、集合写真の撮影を行いました。最後に、「ばくたち、わたしたちは火遊びはしません」と退団後も火遊びはしないと、大きな声で約束をしました。



平成30年1月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	H30累計
火災	0	0	1	0	0	1	1
救急	20	9	9	5	1	44	44

(平成30年1月31日現在)

【上島町消防署】☎77-4118

消防署からきました
お一人でお住いですか？
家族構成を教えてください！

古くなった
消火器を
買い替え
ませんか？

ご注意ください！

消防署が
個人情報問い合わせる電話や
商品の購入を勧める訪問を
することはありません。

愛媛県内では消防職員や
役場職員を名乗り、防災
グッズなどの販売や、家族構
成などの個人情報問い合わせ
る事案が発生しており、
平成29年7月号の消防だよ
りでもお知らせしたところ
です。

平成30年1月に2件、上
島町管内でも同様の事案が
発生したため、再度お知ら
せします。

上島町管内で
発生した事例

一人暮らしの高齢者
(女性) 宅に消防署員
を名乗る者からの電話
があり、氏名や家族構
成を確認され、電話の
途中で一方的に切られ
た。

不審に思ったので消
防署に事実確認の連絡
をした。

消防署が個人のお宅に電
話をかけて個人情報を問
い合わせることはありません。
また、訪問して品物の
購入を勧めたりすること
もありません。もし同様の
電話や訪問があった場合
は、上島町消防本部または
上島町各総合支所、愛媛
県消費生活センター(☎089-
9251370)へご相談くだ
さい。

暖房器具の給油は安全確実に！

石油ストーブによる火災の中には、カートリッジタンクに灯油を給油した後、キャップを完全にしめ付けないまま石油ストーブにセットして、漏れた灯油に引火するケースがあります。石油ストーブを含む暖房器具の給油は、次のポイントに注意して、火災の発生を防ぎましょう。

- 給油をする際は
ストーブを消す
- カートリッジタンクの
キャップは
きちんとしめる

被害のようす

病斑は始め白色の小さな
カサブタ状で、後に拡大し
褐色の大きな病斑となり
ます(図1)。激発すると枝
にも病斑が発生し、葉の
病斑と

かいよう病はかんきつ類に
発生する細菌性の病気で
す。品種により抵抗性が
違い、温州みかんは比較
的に強く、レモンや甘平
などはかかりやすい品種
です(表1)。

春先気温が高くなると
もに感染が始まります。病
原菌は強力な伝染性・流
行性をもっており、防除が
できなかつたり、強風を伴
う雨があたりすると大き
な被害が出てしまいます。



図1 果実に発生した病斑



図2 枝に発生した病斑

- 防除のポイント
- 1 発病しやすい品種、昨年
発生が多く見られた園で
は、発芽前に銅剤で必ず
 - 2 台風、大雨、長雨が予想
される場合は、降雨前の
予防散布が効果的です。
また、発病しやすい品種
は天候が回復した後に再
度防除するのが理想で
す。
 - 3 発病した葉や枝などは越
冬し次年度の発生源とな
るので、剪定時などに切
除します。また、夏秋枝
はハモグリガの防除を徹
底するとともに、適期に
整理します。
 - 4 発病しやすい品種を栽培
する場合は、風当りの少
ない園地に植えるか、生
け垣、ネットなどで防風
対策を行います。
 - 5 苗木や窒素過多の樹は発
病しやすいため、管理に
は注意が必要です。

表2 かいよう病の防除時期(レモン)

防除時期	薬剤
2月～3月	I Cボルドー 66 D 40倍 または、ムッシュボルドー DF 500倍
4月	I Cボルドー 66 D 80倍+アビオンE 1000倍
6月上旬	I Cボルドー 66 D 80倍

表3 かいよう病の防除時期(中晩柑)

防除時期	薬剤
3月中下旬	I Cボルドー 66 D 40倍 または、ムッシュボルドー DF 500倍
4月下旬	I Cボルドー 66 D 80倍+アビオンE 1000倍
6月中旬 (多発園)	I Cボルドー 66 D 80倍
応急防除	キンセツ水和剤 600倍

しまなみ
農業だより

かいよう病

気温が高くなる前、今からの防除が大切
です。しっかり防除して高品質なかん
きつ類の出荷を目指しましょう！

表1 かいよう病に対する感受性

感受性	品 種
発病 しやすい	レモン、ネーブル、 伊予柑、甘平
中	甘夏類、セミノール、 はるみ、不知火、 せとか
発病 しにくい	温州みかん、ユズ

伴った多雨条件で多発し
ます。このため、春に気温
が高めで強風を伴った降雨
があると発生が急激に拡大
し、春芽や幼果実でも発生
します。

葉の気孔感染は3cm程度
に展葉した頃から6月頃の
硬化期までで、果実の感
染は果実の直径5～6mmから
8月頃までです。ただし、台
風などの強風による傷口感
染は10月頃まで葉、果実と
も感染します。さらに、夏
芽、秋芽にミカンハモグリ
ガの被害があると、発病し
やすくなります(図3)。



図3 ハモグリガ食害痕に発生した病斑